## 令和6年度 学校経営報告書(自己評価)

学校番号 19 学校名 静岡県立沼津西高等学校 校長名 鈴木 康之

## 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

4-		点目標はゴシック体で記載)	本出生河	新/m	<b>出</b> 1、無 居
	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	主を理コシ現生る的し思ュンを育なて考ニカ有育が、カケ、す成が論、一表るす	・「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生60%以上、2年生70%以上、3年生90%以上・「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒80%以上・授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員100%・「朝読書が充実した」と回答する生徒90%以上	・「自分の進路目標実現に向けて、主体的に授業や家庭学習に取り組んでいる」と回答する1年生62.2%(a)、2年生71.9%(b)・「自分の意見や考えたことを表現したり伝えたりする力が付いている」と回答する生徒68.6%(c)・授業参観や校内研修を通して「自分の授業改善に取り組んだ」と回答する教員97.1%(a)・「朝読書が充実した」と回答する生徒67.8%(c)	В	・1・2年生は主体とは主体をはまり、、1・2年生は自覚の、数はり、数はり、数はりので、数はいりので、数はいりので、数はいいので、如はいいので、数はいいので、数はいいので、如はいいのでは、如はいいのでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは
1	社必能人属さいない。	・「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒90%以上 ・「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒80%以上 ・「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒90%以上 ・「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒90%以上 ・ 県大会以上出場部活動15部活以上 ・ 「興味を持って主体的に部活動に取り組めている」と回答する生徒80%以上 ・ 部活動再編に向けた検討を進める。	・「毎日の健康観察を含め、心身の健康保持に努めた」と回答する生徒71.6%(c) ・「気持ちの良い挨拶ができる」と回答する生徒74.2%(b) ・「服装はいつもしっかりしている」と回答する生徒81.5%(b) ・「クラス、学年、学校のために活動し、役に立ったことがある」と回答する生徒64.9%(c) ・県大会以上出場部活動16部活(b) ・「興味を持って主体的に部活動に取り組めている」と回答する生徒73.4%(b) ・部活動再編に向けた検討を進めた。(c)	В	・感観い不をさ見持あ接るや集意し部検はとれる・るりとれる・名りのでは、はははよくでにとるを表してるりではなる。とれる・名がのでは、はははよくは、ははないのでは、はははないが、でははないが、でははないが、でははないが、でははないが、でははないが、でははないが、でははないが、でははないが、では、ははないでは、はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
ウ	高い い ジ精 神 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	<ul> <li>・進路目標が明確な1年生70%、2年生80%、3年生90%</li> <li>・「進路行事が有意義だった」と回答する生徒70%以上</li> </ul>	・進路目標が明確な1年生51.7%(b)、2年生61.4%(b)、3年生76.3%(b)・「進路行事が有意義だった」と回答する生徒65.4%(b)	В	・具体的な志望校や 学部学科を明確に するためにも、探 究学習とキャリア 形成をつなげた実 践が考えられる。

様式第3号

		・合唱コンクールや潮音祭がよ	・合唱コンクールや潮音祭がよ		・芸術科の芸術に触
	芸術に対する	り充実した満足度の高いも	り充実した満足度の高いも		れることで、芸術
	関心・理解を	のであったと回答する生徒	のであったと回答する生徒		に対する感性が豊
工	深め、生涯を	80%以上	74.1%(b)		かになっていると
	通じて芸術に	<ul><li>・各専攻が企画する演奏会や展</li></ul>	・各専攻が企画する演奏会や展	В	思われる。芸術科
	親しみ愛する	覧会、地域貢献活動等の目的	覧会、地域貢献活動等の目的	Ъ	の意欲・主体的な
	姿勢を育成す	や意義を理解し、「意欲的・	や意義を理解し、「意欲的・		取組が低い結果と
	<del>女刃で</del> 日外) る。	主体的に取り組んだ」と回答	主体的に取り組んだ」と回答		なったことが課題
	.90	する生徒 90%以上	ナる生徒 68.5% (c)		である。
	世界の性なめ	5 分工に 30 /0 SA工	9 3 1/E 00. 0 /0 (C)		
	地域の特色や	「物佐っよりぶ台」」をより	・「探究スキルが向上した」と		・目標で求められて
	課題及び異文	・「探究スキルが向上した」と	回答する生徒 69.7% (b)		いる理解や態度、
	化や多様性に	回答する生徒80%以上	・国際交流を通して異文化、多		課題解決力の育成
	対する理解を	・国際交流を通して異文化、多様性。の理解となぶです。	様性への理解関心が深まっ		は目標に近づいて
才	深め、探究的	様性への理解関心が深まった。	たと回答する生徒 100.0%	В	いる。校内だけで
	な態度やグロ	たと回答する生徒90%以上	(a)		はなく、探究学習
	ーバルな視点	・「ボランティア活動や地域の	<ul><li>「ボランティア活動や地域の</li></ul>		推進等で地域の資
	で課題解決に	活動に参加したことがある」	活動に参加したことがある」		源を活用した学び
	取り組む力を	と回答する生徒 70%以上	と回答する生徒 63.5%(b)		をどう充実させる
	育成する。		William and Block Mark Access		かが課題である。
		・学校はいじめ防止等を含め 「安心安全な学校づくりを 推進している」と回答する保 護者80%以上 ・「防災避難訓練等により、防 災に関する知識・技能が高ま	・学校はいじめ防止等を含め		・安心・安全な学校
	「安心好 推進して 護者 80% ・「防災避 災に関す った」と		「安心安全な学校づくりを		づくりについて
			推進している」と回答する保		は、保護者や生徒
			護者 85.5% (a)		から一定の理解を
カ			・「防災避難訓練等により、防		得られている。い
			災に関する知識・技能が高ま		じめ防止アンケー
		った」と回答する生徒80%以	った」と回答する生徒 73.0%		トや防災避難訓
	学校づくりと	上 ・「登下校の際、交通ルールや マナーを守れている」と回答 する生徒90%以上 ・定期的に施設点検を行い情報 共有する。危険箇所について	(b)		練、交通ルールや
	働き方改革を		・「登下校の際、交通ルールや		マナーの見直しも
	踏まえて、教育環境、施設を整備し、教育活動を充実させる。		マナーを守れている」と回答	В	行った。自転車の
			する生徒 80.8% (b)		ヘルメット着用に
			・定期的に施設点検を行い情報 共有した。危険箇所について は修繕の早期実現を行った。 (b)		ついても進めてい
					る。
					・学校の働き方改革
					に向けた取組で
		見直しを行った」と回答する	・「担当業務において、内容の		は、目標を上回り、
	教員 90%以上 ・時間外在校時間の縮減に努め	教員 90%以上	見直しを行った」と回答する	5	今後も継続して取
		教員 91.4% (a)		り組む。	
		た教員 80%以上	・時間外在校時間の縮減に努め		・個人情報の管理等
			た教員 82.8% (a)		の課題があった。
	効果的な情報	・「生徒の成長を目指して、学	・「生徒の成長を目指して、学		・欠席等の連絡方法
	発信により家	校とPTAの連携が取れて	校とPTAの連携が取れて		の新規導入やクラ
丰	庭や地域との	いる」と回答する保護者70%	いる」と回答する保護者		ウド等の活用によ
	連携を強化	以上	82. 8% (a)		り情報共有を図っ
	し、信頼され	・「子供を入学させて良かった」	・「子供を入学させて良かった」	Α	た。
	る学校・開か	保護者 80%以上	保護者 91.2%(a)		<ul><li>ホームページの改</li></ul>
	れた学校を構	・「学校行事の実施や広報活動	・「学校行事の実施や広報活動		修やインスタグラ
	ない。 により教育内容が説明さ; 第する。	により教育内容が説明され		ムによる発信で広	
	>R / 00	ている」保護者80%以上	ている」保護者84.8%(b)		報活動を行った。